

第1232号

株式会社 茨城木材相互市場

2022

那珂川NEWS 8

育てませんか あなたと私の Wood コミュニケーション

どうなる木材市況！

常務取締役(木材・プレカット営業)
鈴木 裕二

市況は6月より停滞した状況となっています。昨年のウッドショックによる木材価格の高騰や住宅関連の大部分の資材の値上げにより、住宅価格が上昇したために需要の減少が起きています。さらに、合板不足や住設機器の納期遅れが続き工程が思うように進んでいない現場も多くみられます。茨城県の5月の新設住宅着工戸数も、持家で対前年同月比-15.6%と大幅に減少しており、その影響が市況に反映されています。

◆国産材

原木は、虫害の時期で若干入荷量は減少しているものの、記録的な梅雨の短さもあり順調に入荷しております。製品は、6月から日を追うごとに低調な荷動きとなっており、プレカット向けの7月中旬のお盆前のお駆け込みも例年に比べ少ない状況で杉3m柱材や桧土台などの構造材や杉3m間柱などの価格が徐々に下がり始めており、100,000円前後の価格となっています。セリ売りでは、100,000円を割り込んだ販売の場面もあり、8月にかけてさらに弱含みの価格になるものと思われる。

9月からは、合板の品不足や資材関係の納期遅れも落ち着いて、今まで延期になっていた物件や、非住宅物件の工事も始まることから、需要は回復傾向になると思われます。昨年からの高騰した製品価格が、どのくらいで今後の基準相場となるか注目するところです。個人的な見解では、杉KDで80,000円、桧KDで100,000円くらいが、落ち着くところかなと思います。

◆輸入材

2月に、ウクライナ問題により急騰した輸入材でしたが、国内市況の低迷や当初の思惑と違い入荷量が減少しなかった

ことから、国内埠頭の在庫量は史上最大となっています。

東京15号地の在庫量は19万^m (米加味材5万^m・欧州材6万^m・ロシア材4万^m・他4万^m) となっております。昨年契約分の入荷やコンテナ問題の緩和による短納期での入荷などがあり、入荷量は減少していない状況です。価格については、需給状況により弱含みの展開にはなると思われませんが、昨年契約分の最高値の製品の在庫が、各プレカット工場や各間屋にもまだまだあります。さらには、今後とも高値の製品の入荷が見込まれること、また今年後半の契約した製品の現地価格は下がっているものの、為替の影響で入荷価格は、大幅な値下げは望めないことから、大きな値下げは考えられない状況です。欧州材などは、今年後半の入荷量が例年の半分以下との情報もあり、再び品不足がでる懸念もあります。

国産材においては、国産材比率をさらに高めるためにも、せっかく昨年来に川上までの適正価格に明るい兆しが見えたところですので。関係する事業者が、適正な利益を出すことで持続的に経営できる、地域型サプライチェーンを構築することが関係するわれわれの大切な使命になると思います。

絶賛開催中！！

「プレカットキャンペーン」

第一弾

6/21～9/20にお見積りを頂いたお客様全員にクオカード(500円分)をプレゼント！！

第二弾

第一弾キャンペーン期間にお見積り頂いた物件を12/20までに出荷していただいたお客様に更にクオカードをプレゼント！！

【キャンペーン対象】

- ・羽柄加工(3項目以上) … 1,000円
 - ・接合金物納品 … 1,000円
 - ・羽柄加工 + 接合金物納品(3項目以上) … 2,000円
- 皆様からのお問い合わせをお待ちしております！！

プレカット営業部 一同

■わたしたちの使命 (SDGs)

(茨城木材の社会的役割)



「消費と生産を結ぶ価値ある架け橋」となる
— 循環型地域環境の創造 —

1. 地域の人々により良い『住環境』を提供すること
2. 茨城県の森林環境を守ること



R4年6月新設住宅着工					
	計	持家	貸家	給与住宅	分譲住宅
全国計	74,596	23,184	230,285	435	20,692
前期比	97.8%	88.7%	101.6%	90.2%	104.1%
茨城県	1,632	759	495	6	372
前期比	98.6%	85.6%	108.8%	300%	119.2%

県内市別の状況及びR4年度累計は弊社 Facebook をご覧ください。

〔市日予定〕

〈 本 社 〉	〈 つくば 〉
8月10日(水) 記念市 昼食 12:00 せり 13:00	8月4日(木) 記念市 8月25日(木) 記念市